

MEE

タッチレス機能付き 15型タッチパネルモニター

形名

TSD-HT1526-M

取扱説明書



■この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、タッチパネルモニターをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。

インターネットホームページ：

<http://www.mee.co.jp/sales/visual/touch-monitor/>

製品情報などを提供しています。

投影型静電容量方式

もくじ

	ページ
1. ご使用前の前に……………	2
2. 安全のために必ず守ること……………	3
3. 各部の名称……………	6
* 本体背面（コントロール部）……………	6
* 本体背面（接続部）……………	7
* 付属品の確認……………	7
4. 接続……………	8
* 電源の接続……………	8
* ケーブルの接続……………	9
* ケーブルの固定……………	9
5. 画面調節……………	10
* 画面の調節……………	10
* OSD機能……………	10
6. 機能……………	12
* 自動画面表示……………	12
* パワーマネジメント機能……………	12
* タッチパネルの設定……………	13
* タッチパネルの操作設定……………	14
* タッチレス機能について……………	15
7. お客様筐体への取付……………	16
* 取付上のご注意……………	16
8. 困ったとき……………	17
* 故障かな？と思ったら……………	17
* お手入れ……………	18
9. 付録……………	19
* 仕様……………	19
* さくいん……………	裏表紙

ご使用前の
安全のために…

各部の
名称

接続
画面
調節

機
能

困ったとき
お客様
筐体への
取付

付
録

1 ご使用の前に



この装置は、VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本機は本機推奨の電源セット(ACアダプタ、電源コード)および付属のケーブル類を使用した状態でVCCI基準に適合しています。







- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。


Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。


 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋家財などの損害に結びつくもの
---	--	---	-----------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理はしないでください。		必ずアースリード線を接地(アース)してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意(本体後面に表示)

 **お願い** : 取扱い上特に守っていただきたい内容

 **おしらせ** : 取扱い上参考にしていただきたい内容

 : 参考にしていただきたいページ

 **【ミニ解説】** : 専門用語の簡単な説明

2 安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

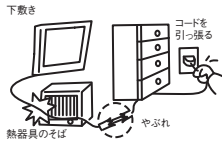


故障(画面が映らないなど)や
煙、変な音・においがするときは
使わない



火災・感電の原因になります。

電源コードを傷つけない



重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、
無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を
加えたりしないでください。コードが破損
して火災・感電の原因になります。

傾斜面や不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になり
ます。

修理・改造をしない



けが・火災・感電の原因
になります。

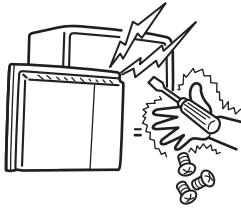
異物を入れない

特にお子さまにご注意



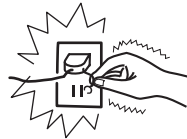
火災・感電の原因になります。
通風口などから金属類や燃えやすいもの
などが入ると、火災・感電の原因になります。
万一入った場合はすぐに電源を切り、電源
プラグをコンセントから抜いて販売店にご
相談ください。

裏ぶたを外さない



内部には電圧の高い部分があり、さわると
感電の原因になります。

アースリード線を挿入・接触しない



電源プラグのアースリード線を電源コンセ
ントに挿入・接触させると火災・感電の原因
になります。

ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意



本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の
原因になります。

正しい電源電圧で使用する



指定の電源電圧以外で使用すると
火災・感電の原因になります。

風呂場や水のかかる所に置かない

水などがタッチパネルモニターの内に入った場合は
すぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから
抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのま
ま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。



雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。
感電の原因になります。



液晶を口にしない

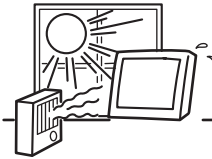
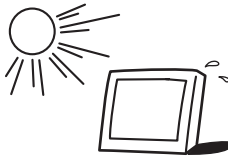
液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出した場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。中毒を起す恐れがあります。万一口に入ってしまったら、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。



⚠ 注意

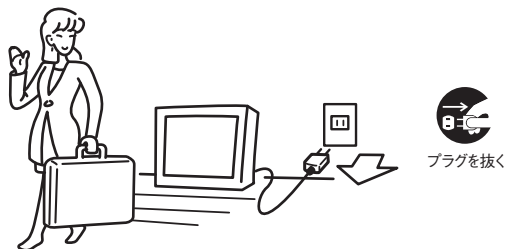
設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p>狭い所に置かない</p>  <p style="text-align: right;">設置禁止</p>	<p>おお向けや横倒し、さかさまにしない</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>  <p style="text-align: right;">設置禁止</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p>  <p style="text-align: right;">屋外での使用禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p>  <p style="text-align: right;">設置禁止</p>
<p>車載用禁止</p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> <p style="text-align: right;">禁止</p>	<p>本製品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因になることがあります。</p>	
<p>タッチパネルに衝撃を加えない</p> <p>タッチパネル面を固いもので叩いたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>	<p>接続線をつけたまま移動しない</p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線を外したことを確認のうえ、移動してください。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>	
<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>コードを引っ張ると傷つき、火災・感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">プラグを持つ</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">ぬれ手禁止</p>	
<p>電源プラグのアースリード線を接地(アース接続)する</p> <p>故障のときに感電の原因になります。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>  <p style="text-align: right;">接地</p>	<p>お手入れの際は電源プラグを抜く</p> <p>感電の原因になります。During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p>  <p style="text-align: right;">プラグを抜く</p>	
<p>電源プラグを奥まで差し込む</p> <p>電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因になることがあります。</p>  <p style="text-align: right;">抜けかかり禁止</p> <p style="text-align: right;">しっかりと差し込んで</p>	<p>タッチパネルモニターを廃棄する場合</p> <p>本機を廃棄する際は法律に従ってください。詳細は、所在の地方自治体に問い合わせてください。</p>	

⚠ 注意

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く



火災の原因となることがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

火災の原因になります。
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



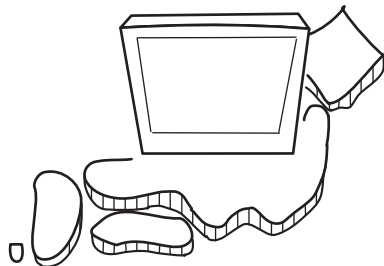
ほこりを取る

タッチパネルモニターの手順正しい使い方

日本国内専用です



国内専用



本機は日本国内専用特許に製造・販売されています。
海外の特許に抵触する可能性があるため、日本国外で使用しないでください。
日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。
明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

タッチパネルモニターのお手入れ



タッチパネルモニターの表面にほこりや汚れがついているときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、叩いたりしないでください。また、液晶パネルは壊れやすいので強く押ししたり、強い力を加えたりしないでください。
パネルの表面が変色したり、変質するなどの原因となりますので、OAクリーナーは使用しないでください。

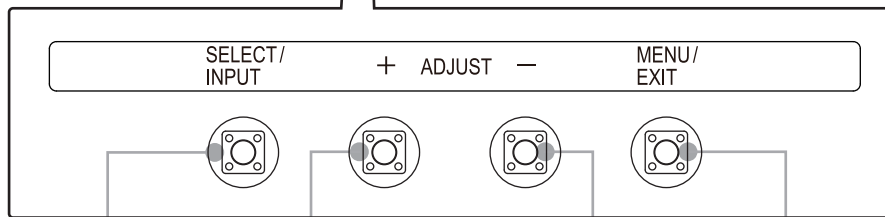
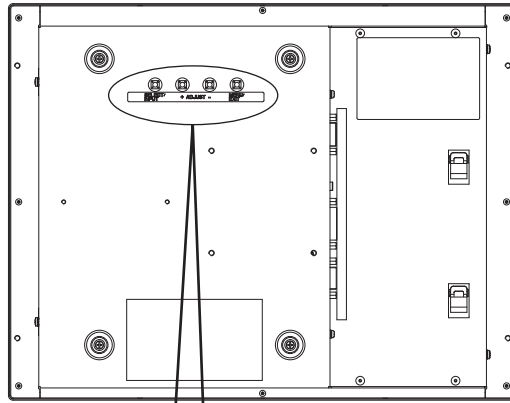
お知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、表示画面を変えたときに前の画面表示が残る現象です。故障ではありません。
残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。
本機液晶パネルにおきましては、黒い画面が多いスクリーンセーバーで残像が発生する可能性が高いのでご注意ください。

3 各部の名称

※ 本体背面(コントロール部)



SELECT/INPUTボタン

OSD画面が表示されていないとき
信号入力コネクタを切り替えます。
OSD画面が表示されているとき
調節グループの決定/解除をおこないます。

+ボタン (調節ボタン)

OSD画面が表示されていないとき(ホットキー機能)
長押しすると、自動画面調節を実行します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT/INPUT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

-ボタン (調節ボタン)

OSD画面が表示されていないとき(ホットキー機能)
ブライトネス調節画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
「SELECT/INPUT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。

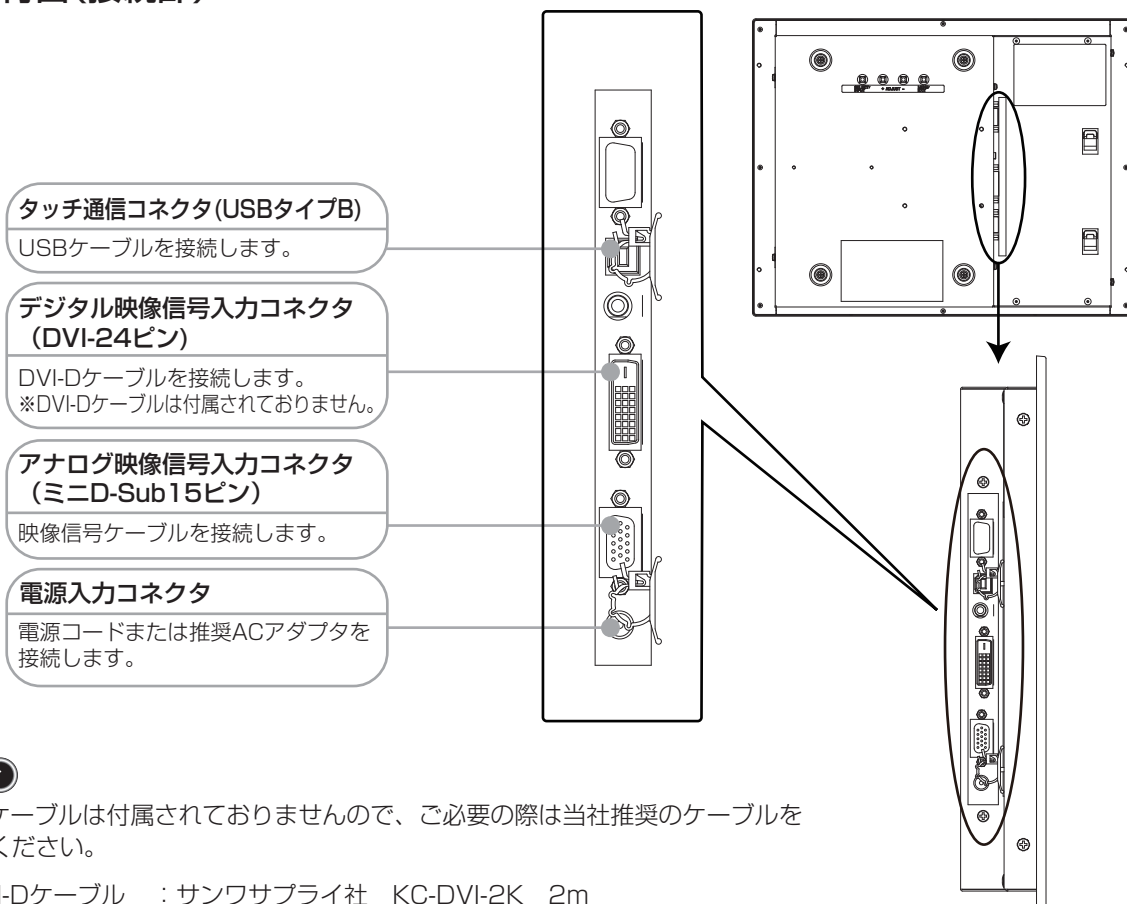
MENU/EXITボタン

OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
表示中のOSD画面を消します。また、OSD機能の操作中には1つ上の画面に入ります。

お知らせ

- 各ボタンによる詳しいOSD画面の操作については「OSD機能」(P10)をご覧ください。

※ 本体背面(接続部)



おしらせ

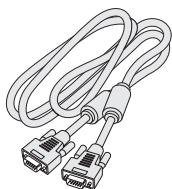
DVI-Dケーブルは付属されておりませんので、ご必要の際は当社推奨のケーブルをご購入ください。

DVI-Dケーブル : サンワサプライ社 KC-DVI-2K 2m

※ 付属品の確認

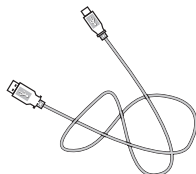
お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

① 映像信号ケーブル

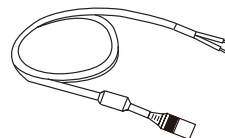


ミニD-Sub 15 - ミニD-Sub 15
フェライトコア2つ付

② タッチ通信ケーブル(USB)
タイプA - タイプB



③ 電源コード

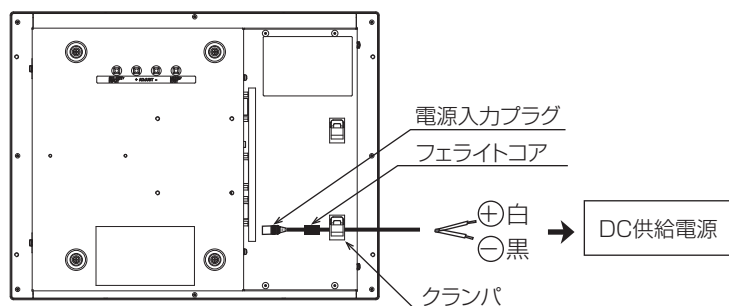


4 接続

※ 電源の接続

1. 付属の電源コード使用時

付属の電源コードをタッチパネルモニター背面の電源入力コネクタに接続後、DC(12V) 供給電源に接続してください。



お願い

- コンピュータに接続する前に、タッチパネルモニター、コンピュータおよび周辺接続機の電源を切ってください。

⚠ 警告

【当社推奨 AC アダプタと電源コードは別売（形名：TSD-PS2）となっております。】

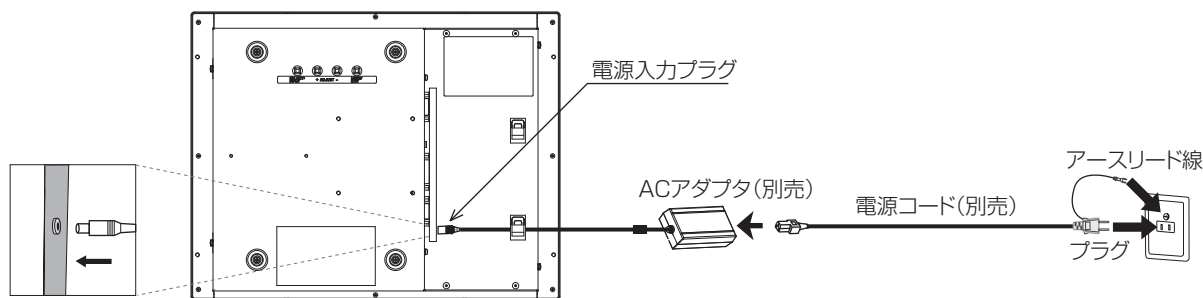
AC アダプタの電源入力プラグをタッチパネルモニター背面の電源入力コネクタに接続後、電源コードのコネクタ側を AC アダプタに接続しプラグを AC100V 電源コンセントに接続してください。コンピュータの電源コンセント側に接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A 以上必要です。）

2. 電源セット（AC アダプタ、電源コード：別売）使用時

アースリード線を接地（アース接続）してから電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続してください。コンピュータ本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A 以上必要です。）

お願い

- コンピュータに接続する前に、タッチパネルモニター、コンピュータおよび周辺接続機の電源を切ってください。



⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 電源コードのアースリード線は必ず接地（アース）してください。故障のときに感電の原因となります。また、電源コードのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードは AC100V 専用です。AC100V 以外でご使用になる場合は、別途電源電圧に合った電源コードをご用意ください。

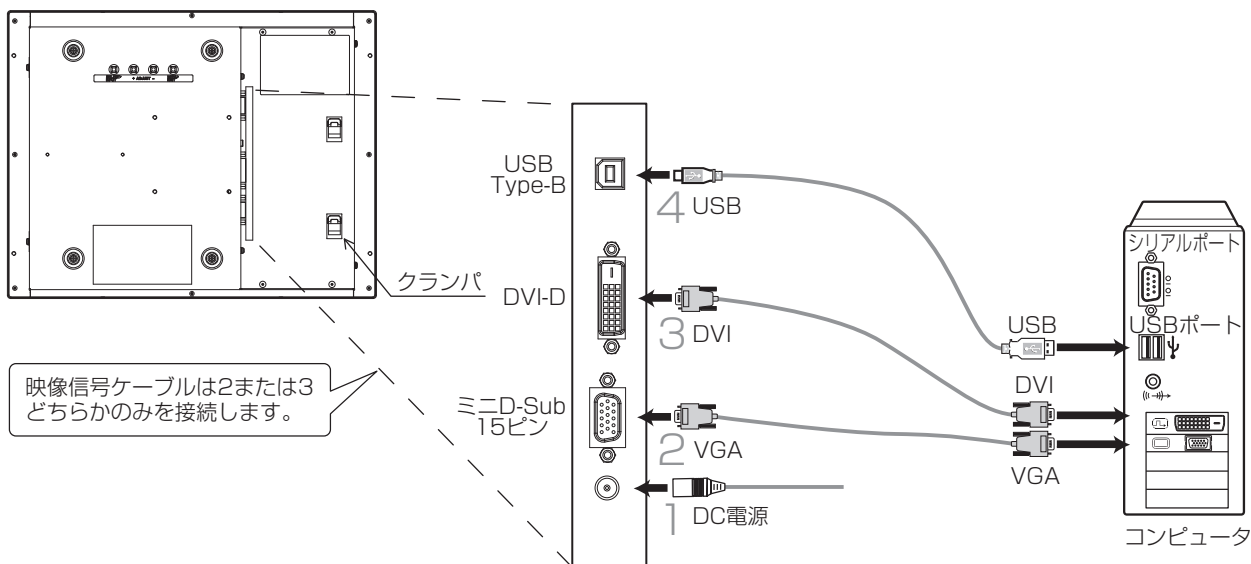
お願い

電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

＊ ケーブルの接続

ケーブルは、接続後それぞれの固定ネジで確実に固定してください。



- 1：電源コードまたは推奨ACアダプタ
- 2：D-Sub15ピン-D-Sub15ピン（アナログ映像信号用）
- 3：DVI-D-DVI-D（デジタル映像信号用）
- 4：USBケーブル（タッチ通信用）

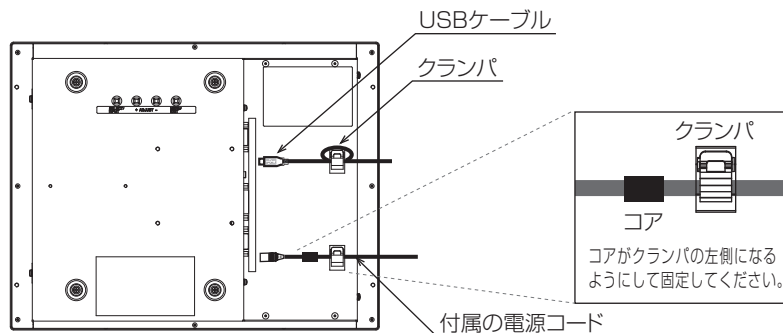
お願い

ケーブルを接続する前に、本機、コンピュータおよび周辺機器の電源を切ってください。

おしらせ

USBの接続は、USBハブなどを介さず、直接コンピュータに接続することをおすすめします。

＊ ケーブルの固定



お願い

- USBケーブル使用の際は、USBケーブルが容易に抜けないよう上図のようにケーブルで輪を作った状態でクランパを固定してください。
- 付属の電源コード使用の際には電源入力プラグが容易に抜けないよう上図のようにクランパにコードを通し、フェライトコアがクランパに引っかかるように固定してください。
- 電源セット使用の際は固定方法が異なりますので、電源セットの取扱説明書をよくお読みになり、ACアダプタのケーブルが容易に抜けないようにクランパに固定してください。

5 画面調節

＊ 画面の調節(アナログ接続の場合)

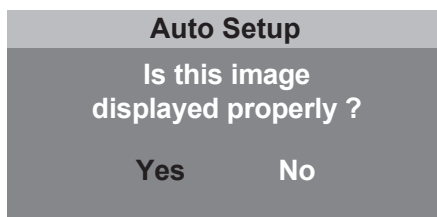
画面の調節方法として「自動画面調節」と「マニュアル画面調節」の2種類があります。本機をコンピュータと接続したときは、最初に「自動画面調節」をおこなってください。その後、調節をおこなう必要がある場合は、「マニュアル画面調節」をおこなってください。

お知らせ

- 本機は水平周波数:30.0~61.0kHz、垂直周波数:55.0~75.4Hz 対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては表示できない場合があります。その場合は、コンピュータのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。

1. 自動調節

- (1) 本機、およびコンピュータの電源を入れてください。
- (2) OSDメニュー内の「Auto Setup」を選択することにより、自動画面調節を開始します。入力された信号を検出し、「Clock」、「Phase」、「H.Position」、「V.Position」の自動調節と、入力信号に適した色合いへ自動調節を開始します。自動調節完了後は、調節に問題ないかを確認する以下のOSDが表示されます。問題ない場合は「Yes」を選択してください。問題がある場合は「No」を選択し、手動で調節をしてください。



お知らせ

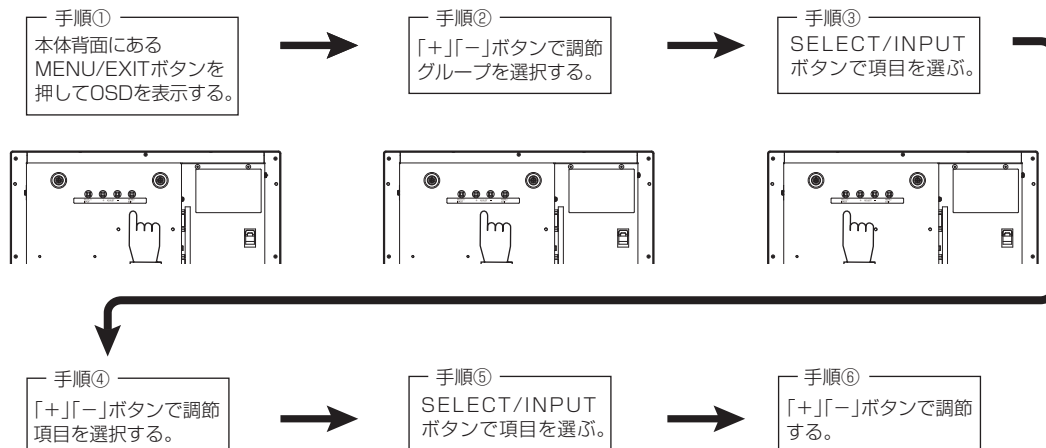
- DOSプロンプトのように文字表示のみの場合は、自動画面調節がうまく機能しない場合があります。
- コンピュータやビデオカードによっては、自動画面調節がうまく機能しない場合があります。この場合、マニュアル画面調節でお好みの画面に調節してください。

2. マニュアル調節

- (1) 本機およびコンピュータの電源を入れてください。
- (2) 「OSD機能」(P10)を参照のうえ、調節項目を選択します。
- (3) 調節ボタンを押してお好みの画面に調節します。

＊ OSD機能

本機にはOSD(On Screen Display)機能がついていますので、OSD画面により画面の調節などができます。



その他、OSDで操作方法を表示している場合はそれに従ってください。

■ タッチ OSD 画面調節項目



グループメニュー	調整項目	機能（調節内容）	
Exit		OSD 調節を終了します。	
Auto Setup (アナログ接続の場合のみ)		左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、左右の画面サイズ、位相を自動調節します。 また、映像信号の入力振幅に合わせて、ADC (AD コンバータ) ゲインを最適に自動調節します。 ※ 640x400(350)/720x400(350) 等のオーバーラップタイミング時には 640/720 の選択キーが表示されます。(初期値 720)	
Brightness		画面の明るさを調節します。(0 ~ 100 初期値 100)	
Contrast		コントラストを調節します。(0 ~ 100 初期値 90)	
Display (アナログ接続の場合のみ)	Exit	このグループの調節を終了します。	
	H. Position	左右方向の表示位置を調節します。(初期値 50)	
	V. Position	上下方向の表示位置を調節します。(初期値 50)	
	Sharpness	表示のシャープさを調節します。 (0 ~ 4 初期値 2) (※解像度 1024 x 768 の映像入力時は無効)	
Color Mode	Exit	このグループの調節を終了します。	
	Cool	色温度を Cool に設定します。 (9300K Gain=R:90/G:85/B:100 固定)	
	Neutral	色温度を Neutral に設定します。 (6500K Gain=R:100/G:92/B:80 固定)	
	Warm	色温度を Warm に設定します。 (5400K Gain=R:100/G:85/B:69 固定)	
	User (初期設定)	色温度を User に設定します。 (USER Gain=R:100/G:100/B:100 変更可)	
Clock/Phase (アナログ接続の場合のみ)	Exit	このグループの調節を終了します。	
	Clock	左右の画面サイズを調節します。	
	Phase	画像のにじみ・ノイズ (クロック位相) を調節します。	
Management	Exit	このグループの調節を終了します。	
	OSD Display	Exit	OSD Display の調節を終了します。
		OSD H. Position	OSD の水平表示位置の調整します。(初期値 50)
		OSD V. Position	OSD の垂直表示位置の調整します。(初期値 50)
		OSD Timer	OSD 表示が自動終了するまでの時間を設定します。(2 ~ 60 秒 初期値 30)
	Source	映像信号入力を切替えます。(VGA・DVI)	
	Recall	工場出荷状態の設定に戻します。 ※ Recall 後、自動的に H.Position、V.Position、Clock、Phase の調整が実行されます。	
	DVI Long cable	On: イコライザ機能有効、Off: イコライザ機能無効 (初期値 On)	
Version		ファームウェアバージョンを表示します。	

おしらせ

- 調節後、OSDの初期画面に戻る際には「MENU/EXIT」ボタンを押すか、Exitアイコンを選択してください。
- HOT KEY機能
OSDが表示されていない状態で「-」を押すとBrightnessを直接調節できます。
OSDが表示されていない状態で「+」を長押しすると自動画面調節を開始します。


6 機能

※ 自動画面表示

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピュータに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピュータによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によっては、うまく表示できないこともあります。その場合は画面調節（ P10）をおこなってください。工場プリセットタイミングで表示したあとでも、調節ボタンでお好みの画面に調節（ P10）できます。この場合、調節後の画面情報が記憶されます。

工場プリセットタイミング 解像度	走査周波数		同期信号極性		備考
	水平	垂直	水平	垂直	
720 x 400	31.5kHz	70Hz	負	正	TEXT
640 x 480	31.5kHz	60Hz	負	負	VGA@60Hz
640 x 480	37.9kHz	72Hz	負	負	VGA@72Hz
640 x 480	37.5kHz	75Hz	負	負	VGA@75Hz
800 x 600	37.9kHz	60Hz	正	正	SVGA@60Hz
800 x 600	48.1kHz	72Hz	正	正	SVGA@72Hz
800 x 600	46.9kHz	75Hz	正	正	SVGA@75Hz
1024 x 768	48.4kHz	60Hz	負	負	XGA@60Hz
1024 x 768	56.5kHz	70Hz	負	負	XGA@70Hz
1024 x 768	60.0kHz	75Hz	正	正	XGA@75Hz

※工場プリセットタイミングの順番は、上記とは異なります。

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 本機は 10 種類のタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリ機能）。記憶させたい信号を入力し、OSD 機能でお好みの画面に調節（ P10）するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「リセット」を実行するとすべてのユーザーメモリに記憶された値が消去されます。
- 本機は水平周波数：30.0～61.0kHz、垂直周波数：55.0～75.4Hz 対応となっておりますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
この場合は、コンピュータの周波数、または解像度を変更してください。
- インターレース信号には対応していません。

お知らせ

- 解像度 1024 × 768 以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

※ パワーマネージメント機能

コンピュータを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPMS対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピュータと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力は以下のとおりです。

モード	消費電力
通常動作時	約12W（標準）
パワーセーブモード時	3W以下

【ミニ解説】 DPMS : Display Power Management Signaling の略です。

お知らせ

- パワーマネージメント機能を解除することはできません。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにもかかわらず、ビデオ信号(R, G, B)が出力されているようなコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。
- タッチ操作またはキーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピュータと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピュータの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。
- 本機のタッチコントローラはパワーマネージメント機能動作中でも動作しています。

＊ タッチパネルの設定

本機のタッチパネルは、Windows® 10以降のOS標準のタッチドライバを使用します。
USBタッチ通信ケーブルをコンピュータに接続して使用します。
本機は2点までのマルチタッチに対応しています。

お願い

- 以下の設定は、管理ユーザー (Administrator) でログインして実施ください。
- 以下の設定をおこなう前に、USBタッチ通信ケーブルで本機とコンピュータを接続しておいてください。
接続するとWindows®の標準ドライバが自動的にインストールされます。

タッチパネルの設定方法

おしらせ

- 導電物の影響を受けやすいため、手や金属などを画面に近づけないでください。
- 本設定中に「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

- 1 Windows®のコントロールパネルを開く
「スタート」-「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」-「Tablet PC設定」をクリックします。
「Tablet PC設定」画面が表示されます。
- 3 「画面」タブの「セットアップ」をクリックします。
白背景のタッチスクリーン指定画面が表示されます。
- 4 画面をタッチします。
タッチした画面がタッチスクリーンとして認識されます。

おしらせ

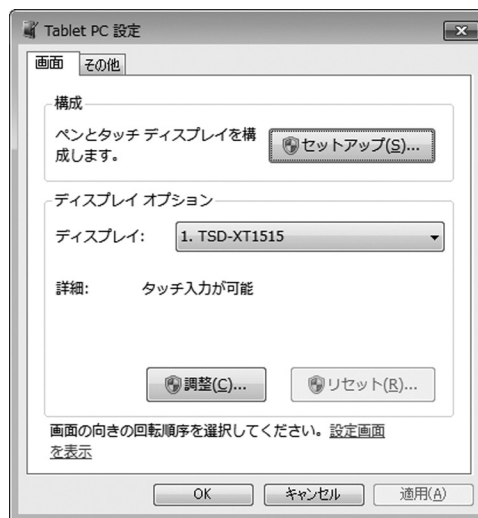
- マルチモニター環境で使用する場合は、表示される画面に従って、タッチスクリーンを指定してください。

- 5 キーボードの「Enter」を押します。
「Tablet PC設定」画面に戻ります。

- 6 「OK」をクリックして画面を閉じます。

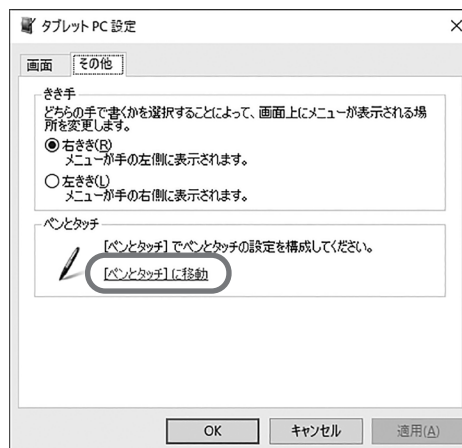
おしらせ

- 「Tablet PC設定」画面の「調整」(キャリブレーション)をおこなう必要はありません。
- 本機のタッチ調整は、あらかじめ最適化されています。
この「調整」では、キャリブレーションをおこなうためのタッチマーカー(十字)が表示画面端の四隅に16箇所表示されます(2回目以降は4箇所になります)。
「調整」機能を使用される場合は、タッチマーカーをタッチしてキャリブレーションをおこなってください。タッチ調整が正しく機能しない場合(タッチ位置のずれが発生等)は、リセットボタンをクリックして調整状態をリセットしてください。
- タッチ中に画面が切り替わってしまい、正しく設定されない場合やタッチ位置がずれた状態で設定される場合があります。
- 本設定の詳細は、Windows®のヘルプを参照ください。

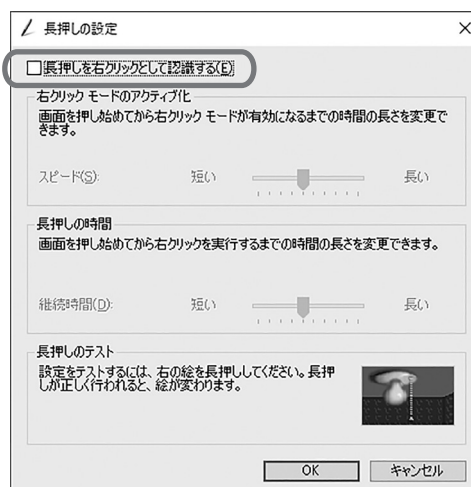
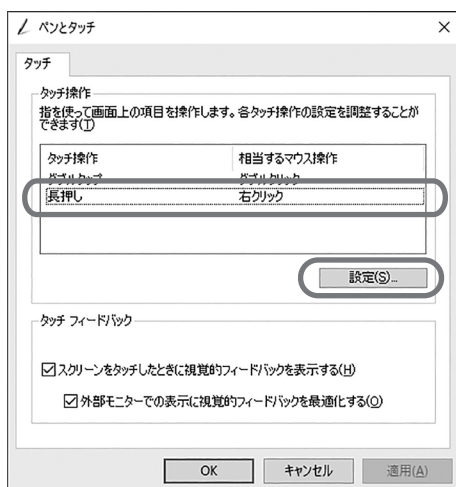


※ タッチパネルの操作設定

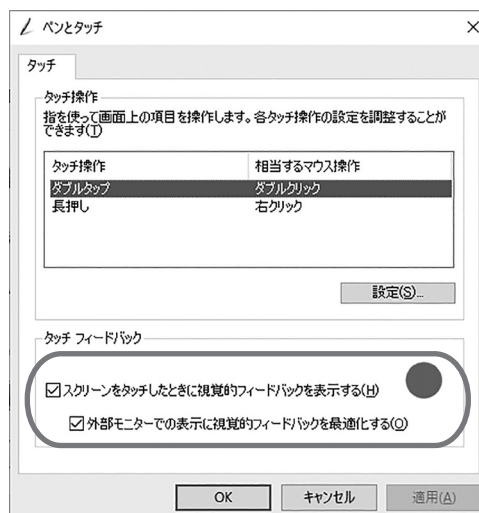
- 1 タブレットPC設定の「その他」の「ペンとタッチ」に移動をクリックして「ペンとタッチ」画面を表示します。



- 2 「長押しで右クリックを認識させない場合は「長押し」を選択、設定ボタンをクリックして「長押しを右クリックとして認識する」のチェックを外します。

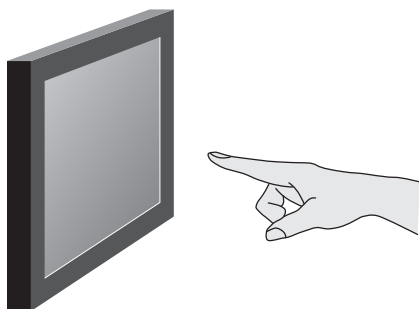


- 3 タッチレスタッチのクリック位置を確認したい場合は「タッチフィードバック」の設定項目にチェックを入れることで確認することができます。



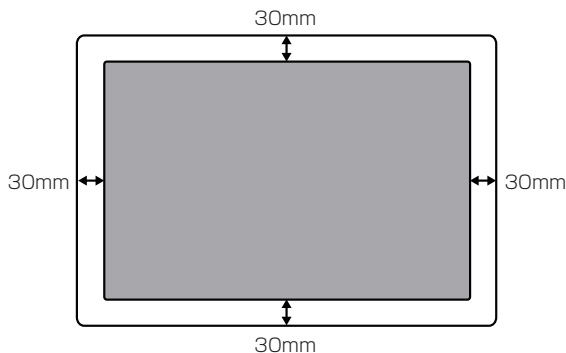
※ タッチレス機能について

画面に指を近づけて非接触で操作することができます。



- タッチパネルに指を近づけると指の位置を検出します。
- 指を同じ位置にとどめるとクリック操作が実行されます。
- 指を一旦離して再度近づけるか離れた位置へ指を動かすことで次のクリック操作が可能となります。
- タッチすることで通常のタッチ操作も可能です。タッチ操作は2点までのマルチタッチ操作が可能です。

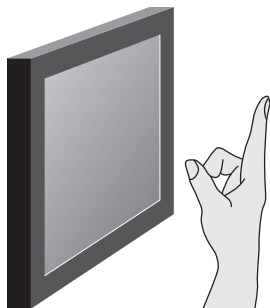
タッチレス操作可能エリア



- 表示画面周辺より30mm内側のエリアで操作が可能です。タッチの場合は全面で操作可能です。
- 指の検出距離はタッチパネルから30mmまでの範囲で検出します。ただし画面の周辺部では感度が低下するため周辺に行くほど検出距離が短くなります。

⚠ 注意

- 電源起動後、約10秒間は指が近づいていないときの状態を計測し基準値として設定します。その基準値を元に指が近づいたときの容量変化を計測することで指の位置を検出しています。そのため電源起動後しばらくは画面に指を近づけたり触れたりしないようにしてください。
- 図のように指と拳がタッチパネルと平行になるような場合には、指の位置を正しく検出できない場合があります。



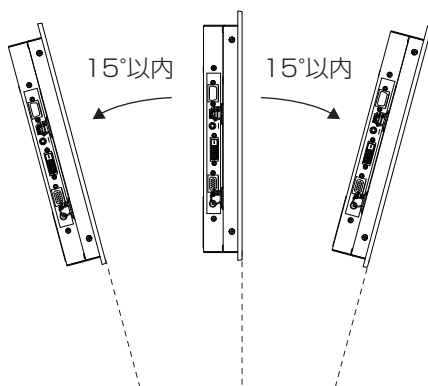
- タッチレス操作アプリケーションを製作される場合、ボタンの大きさや間隔は極力大きくし、誤操作がないように設定してください。
- 画面に水滴が付着すると誤反応する場合があります。その場合は拭き取ってください。

7 お客様筐体への取付

※ 取付上のご注意

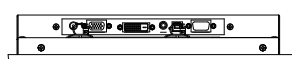
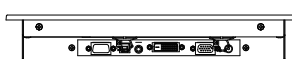
1. 取付角度

本機は垂直取付を基本としています。
斜めに設置する場合は、傾斜角度を15°以内としてください。



⚠ 注意

本機を上向き、または下向きでは使用しないでください。



2. 取付ネジ

お客様筐体やVESA規格アームへの取付けに使用するネジは、M4を準備してください。

⚠ 注意

指定以外のネジを使用した場合はけがや故障およびモニター破損の原因になります。
ネジゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(ただし、締め付けすぎるとネジが壊れることがあります。98~137N・cmが適切な締め付けトルクです。)

取付ネジのタッチパネルモニター側への入り込み深さは次のとおりとしてください。

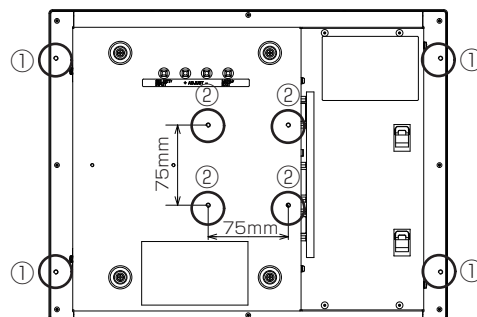
- ①お客様筐体取付穴(4箇所) : MAX3.5mm
- ②VESA規格アーム取付穴(4箇所) : MAX10mm
(取付ピッチ:75mm)

お願い

- 取付けはお客様の責任においておこなってください。
万一事故が発生した場合でも、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。
- タッチパネルモニターを倒したまま固定できないときは、2人以上で取付け作業をおこなってください。落下してけがの原因となります。
- VESA規格アームの取付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。

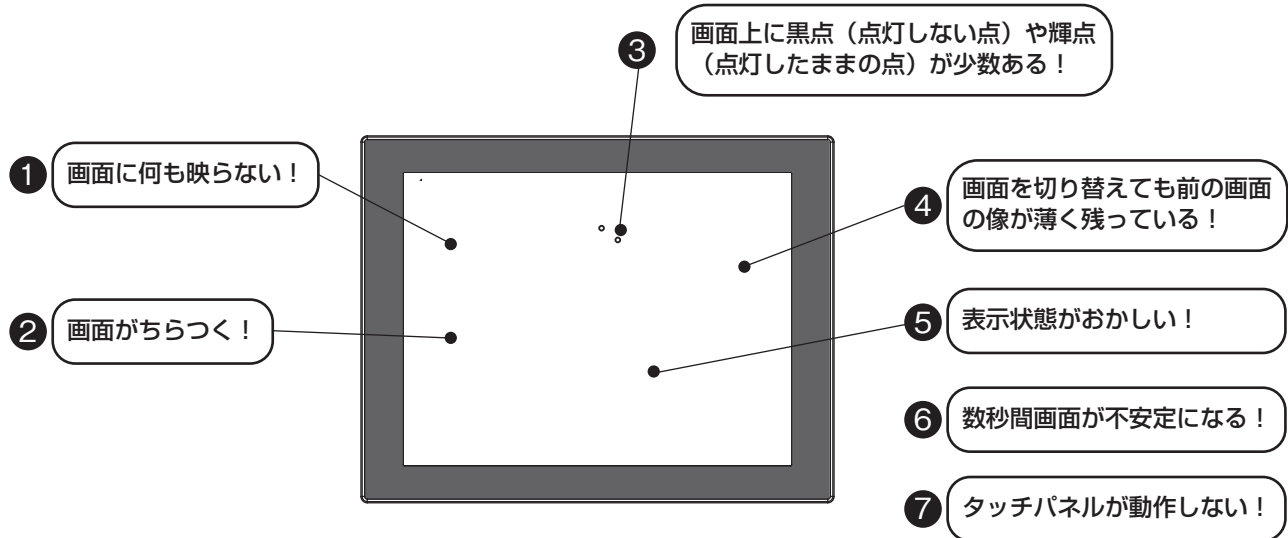
⚠ 注意

本機の表示面(タッチ操作面)の近く(状況によりませんが約2mm以内)に板金、ケーブル等の導電性物体がある場合、タッチの検知に障害(タッチずれ、検知不可等)が発生する可能性があります。そのような設置環境での使用は控えてください。



8 困ったとき

※ 故障かな?と思ったら・・・



このようなときは・・・

チェックしてください。

① 画面に何も映らない!

- (1) 電源コードを正しく接続してください。
- (2) 正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。
- (3) OSD 画面で「Contrast」および「Brightness」を調節してください。（OSD 画面が表示されれば本機は正常です）（P11）
- (4) コンピュータとの接続を確認してください。
- (5) パワーマネジメント機能が作動していると画面が表示されません。タッチ操作またはキーボードの適当なキーを押すかマウスを動かしてください。（P12）
- (6) 映像信号ケーブルを正しく接続してください。
- (7) コンピュータの電源が「切」になっていないか確認してください。

② 画面がちらつく!

- (1) 分配器を使用している場合は、コンピュータに直接入力してください。
- (2) OSD メニュー「Image Control」の「Phase」を選択し調節してください。
- (3) 上下にちらつく場合は、コンピュータのリフレッシュレートを 60Hz に設定してください。

③ 画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）が少数ある!

- (1) 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

④ 画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている!

- (1) 長時間同じ静止画面を表示すると、このような現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は 1 日程度で自然に消えます。

このようなときは……

チェックしてください。

⑤ 表示状態がおかしい！

- (1) 液晶パネルは LED バックライトを使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。
また、周囲温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。
- (2) 視野角（画面を見る角度）によっては、色合いの変化が大きくなります。
タッチパネルモニターの設置角度を調節してください。
液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。
- (3) 表示色がおかしい場合は、OSD メニュー「Color Control」の「Color Temperature」の「USER」を選択し、お好みの色の割合を調節するか、「Tool」の「Reset」で工場出荷設定に戻してください。

⑥ 数秒間画面が不安定になる！

- (1) ご使用のコンピュータによっては、入力信号を切り替えると画面が数秒間不安定になることがありますが、故障ではありません。

⑦ タッチパネルが動作しない！

- (1) USB ケーブルからタッチコントローラへ電源が入力されて約 10 秒間はタッチコントローラが初期化処理を行います。この間に画面に触れると正常に動作しない場合があります。電源入力後 30 秒以上経ってから操作してください。
- (2) 一旦 USB ケーブルを抜いて、再度 USB ケーブルを接続してみてください。
- (3) 「Tablet PC 設定」の「画面」タブで「リセット」をクリックして調整状態を一旦リセットした後で再度設定をおこなってください。

※ お手入れ

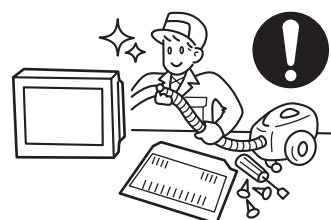
定期的にお手入れを

タッチパネルモニターをより良い状態でご使用いただくため、定期的にタッチパネルのお手入れをおこなってください。
お手入れの際は、電源コードを抜いてから、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
電源を入れたままお手入れをおこなうと、タッチパネルが反応し、故障の原因となります。
汚れがひどいときには水に浸した布をよくしぼって拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



1年に1度は内部の掃除を

販売店におまかせください。定期的な掃除は火災、故障を防ぎます。特に梅雨期の前におこなうのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。



9 付録

＊仕様

項 目		仕 様	
TFT カラー 液晶パネル	サイズ	15 型 (38.1cm) TFT カラー液晶パネル	
	表示画素数	1,024 ドット (H) x 768 ライン (V)	
	画素ピッチ	0.297mm	
	アスペクト比	4 対 3	
	画素配列	R,G,B 縦ストライプ	
	視野角 (標準)	± 85° (左右)、± 85° (上下)	
	コントラスト比 (標準)	1500 : 1	
タッチパネル および コントローラ	方式	投影型静電容量方式	
	表面処理	クリア	
	近接検知	距離：0 ~ 30mm、範囲：表示領域の 30mm 内側 タッチ判定機能：同じ位置で継続検知でタッチ動作	
	近接 / タッチ切替機能	接触時、近接検出モードからタッチ検出モードへ自動切換え	
ディスプレイ 入力信号	マルチタッチ点数	接触タッチ時、最大 2 点	
	映像信号	アナログ 0.7Vp-p (入力インピーダンス：75 Ω)、 デジタル RGB (TMDS)	
	同期信号	セパレート、複合同期信号 TTL コンパチブル	
	水平周波数	30.0kHz ~ 61.0kHz	
	垂直周波数	55.0Hz ~ 75.4Hz	
表示色	最大 1619 万色 (LCD 部)		
表示サイズ	304.1 (H) x 228.1 (V) mm		
輝度 (標準)	320cd/m ² (輝度 100% 設定時)		
コネクタ	映像信号	ミニ D-Sub15 ピン (メス) / DVI-D (メス)	
	タッチ信号	USB Type-B	
	電源	DC-Jack	
使用環境条件	周囲温度	0 ~ 40°C	
	湿度	10 ~ 80% RH (結露なきこと)	
供給電源	DC12V ※別売 AC 電源用アダプタ有		
消費電力	12W (標準)		
適合規格	VCCI クラス B		
キャビネット	外形寸法	373 (W) x 291 (H) x 45 (D) mm	
	ベゼル材料	プラスチック製	
	ベゼル色	ブラック	
質量	約 3.5kg		
ユーザー コントロール (OSD 機能)	操作スイッチ・ボタン	SELECT/INPUT ボタン、+ボタン、-ボタン、MENU/EXIT ボタン	
	OSD 操作	輝度調節	輝度、コントラスト
		色調節	9300K、6500K、5400K、ユーザーカラー
		画面調節	自動調節、水平幅、位相、水平位置、垂直位置
		ツール	シャープネス、入力切替、リセット (工場出荷設定)
		OSD 調節	OSD 表示時間、OSD 表示位置 (水平 / 垂直)
DVI Long cable	有効 / 無効		
付属品	電源コード (DC12V 用 / 1.8m)、映像信号ケーブル (VGA/1.8m)、 タッチ通信ケーブル (USB/2.0m)		

- 本機をコンソールなど筐体に組み込む際には使用環境条件※を超えないよう通風設計には十分ご注意ください。
また、表示面を垂直面より 15 度以上傾けて設置する場合は必ず、ファンなどによる強制通気をおこない、コンソールなど筐体内部に熱がこもらないようにしてください。
また連続運転で使用する場合は、2 ~ 3 年周期でのオーバーホール (点検) を推奨いたします。
※使用環境条件とは、本機の性能を保証できる運転 (動作) 時の本機周囲環境のことをいいます。
(コンソールなど筐体の周囲温度ではありません。)
- 本機推奨の電源セット (AC アダプタ、電源コード) は別売となっております。

【ミニ解説】 視野角：白と黒のコントラスト比が 10 以上に表示できる角度を示します。

* さくいん

A～Z		か		た	
Auto Setup	10,11	外形寸法	19	タイミング	12
Brightness	11	各部の名称	6	タッチパネルの設定	13
Clock	11	画素ピッチ	19	タッチパネルの操作設定	14
Clock/Phase	11	画面がちらつく!	17	タッチレス機能について	15
Color Mode	11	画面上に黒点(点灯しない点)や輝点 (点灯したままの点)が少数ある!	17	タッチパネルが動作しない!	17,18
Contrast	11	画面調節	10	タッチ通信ケーブル	7
Cool	11	画面に何も映らない!	17	タッチ通信コネクタ	7
Display	11	画面を切り替えても前の画面の 像が薄く残っている!	17	適合規格	19
DPMS	12	機能が	12	電源コード	7,8
DVI Long cable	11	供給電源	19	電源入力コネクタ	7,8
Exit	11	近接	19	電源入力プラグ	8
H.Position	10,11	ケーブルの固定	9	電源の接続	8
Management	11,12	ケーブルの接続	9	同期信号	12,19
Neutral	11	工場プリセットタイミング	12	同期信号極性	12
OSD機能	10	故障かな?と思ったら	17		
OSD Display	11	ご使用前に	2	な	
OSD H.Position	11	困ったとき	17	入力信号	10,12,19
OSD Timer	11	コントラスト	11,19		
OSD V.Position	11			は	
Phase	11,17	さ		パワーマネージメント機能	12
Recall	11	質量	19	ビデオ信号	12
Sharpness	11	自動調節		表示画素数	19
Source	11	自動画面表示		表示サイズ	19
TFTカラー液晶パネル	19	視野角 θ		表示状態がおかしい!	17,18
User	11,18	仕様	19	付属品の確認	7
Version	11	使用環境条件		付録	19
VESA	12,16	消費電力		本体背面(コントロール部)	6
V.Position	10,11	数秒間画面が不安定になる!		本体背面(接続部)	7
Warm	11	接続	7,8		
		走査周波数		ま	
あ				マニュアル調節	10
アースリード線	8				
安全のために必ず守ること	3			や	
位相	11,19			ユーザーメモリ機能	12
映像信号ケーブル	7,9				
映像信号入力コネクタ	7				
お手入れ	18				